

2026年 第17週 週報 (4月20日 ~ 4月26日)

■全数把握対象感染症

全ての医師が、全ての対象感染症の発生について保健所に届出を行う感染症。

類型	感染症名	今週の受理件数	流行状況
2類	結核	2 件	
3類	腸管出血性大腸菌感染症	4 件	
	細菌性赤痢	1 件	
4類	レジオネラ症	1 件	

■定点把握対象の5類感染症

定点として指定された医療機関が、対象感染症を週ごとにとりまとめて保健所に届出を行う感染症。

種別	疾患名	流行状況	定点あたり	報告数	年齢階級別報告数						入院患者の届出数
					0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-59歳	60歳-	
A R I	急性呼吸器感染症		29.67	267	104	21	20	5	56	61	1 2
	インフルエンザ		1.33	12	2	2	3	0	4	1	
	新型コロナウイルス		1.67	15	5	3	2	0	2	3	
小 児 科	RSウイルス		1.00	5	5	0	0	0	0	0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
	咽頭結膜熱		0.20	1	1	0	0	0	0	0	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.60	3	1	1	0	0	0	1	
	感染性胃腸炎		6.20	31	6	4	1	3	17	0	
	水痘	注意報	1.00	5	4	1	0	0	0	0	
	手足口病		0.00	0	0	0	0	0	0	0	
	伝染性紅斑		0.00	0	0	0	0	0	0	0	
	突発性発疹		0.20	1	1	0	0	0	0	0	
	ヘルパンギーナ		0.20	1	1	0	0	0	0	0	
	流行性耳下腺炎		0.00	0	0	0	0	0	0	0	
眼 科	急性出血性結膜炎		0.00	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	流行性角結膜炎		1.00	1	0	0	0	0	1	0	
基 幹	細菌性髄膜炎(真菌性含む)		0.00	0	0	0	0	0	0	0	0 0 0 0 0
	無菌性髄膜炎		0.00	0	0	0	0	0	0	0	
	マイコプラズマ肺炎		0.00	0	0	0	0	0	0	0	
	クラミジア肺炎(オウム病除く)		0.00	0	0	0	0	0	0	0	
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0.00	0	0	0	0	0	0	0	

■その他

学級・学年閉鎖等の報告件数	施設等の集団発生件数
0	0
0	1
0	0
0	0
0	0
0	1
0	0
0	0
0	0
0	0
0	0
0	0

警報 : 警報レベル (「大きな流行の発生または継続が疑われる」を示す。)

注意報 : 注意報レベル (流行発生前なら「今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高い」、流行発生後なら「流行が継続している」を示す。)

※令和7年4月7日以降の新たな基準が示されていないため、那覇市保健所では令和7年4月6日まで使用されていた警報・注意報の基準を使用しています。

■今週のトピック

腸管出血性大腸菌感染症の報告が増えています。



- 腸管出血性大腸菌感染症(O157、O26など)はベロ毒素を産生する大腸菌を病原体として、腹痛、水溶便、血便などの症状が現れます。
- 腸管出血性大腸菌は加熱により死滅します。腸管出血性大腸菌の食中毒を予防するためには、**生肉を使った肉料理を避けることや、肉の中心部まで十分に加熱することが重要です。**
- 特に、若齢者、高齢者、抵抗力が弱い方は、重症化することがありますので、生肉や加熱不十分な肉料理を食べないようにしてください。
- 食事や調理の前の手洗い**も重要です。



週報是那覇市保健所ホームページでも掲載中です。



那覇市保健所「注目の感染症」

